

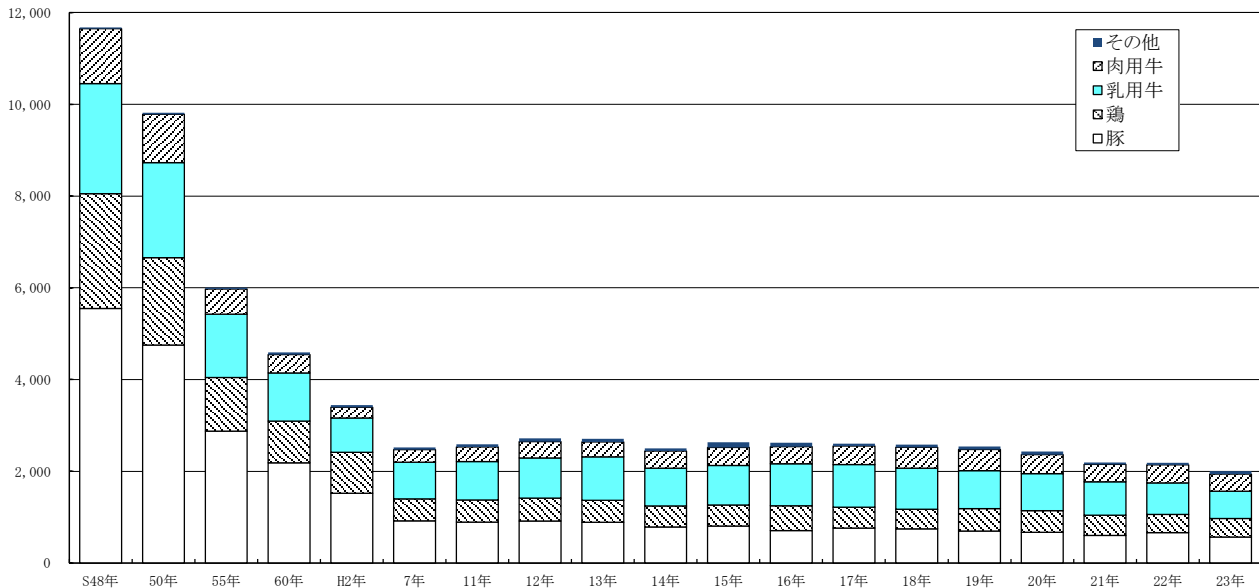
畜産経営に起因する苦情発生状況

農林水産省 生産局
畜産部 畜産企画課
畜産環境・経営安定対策室

平成23年における畜産経営に起因する苦情発生戸数は、2,004戸と、件数は減少したものの、その発生率に関しては、近年ほぼ横ばい傾向で推移している。

苦情発生戸数の畜種別の割合は、乳用牛29.6%(前年31.4%)、豚28.4%(同30.3%)、肉用牛18.7%(同18.0%)、鶏20.1%(同18.3%)となっている。また、苦情の内容についてみると、悪臭関連が57.5%(前年55.9%)、水質汚濁関連が22.9%(同25.3%)となっている。

年次別苦情発生戸数



年次	S48	S50	S55	S60	H2	H7	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
戸数(戸)	11,676	9,816	6,006	4,591	3,443	2,520	2,590	2,719	2,707	2,501	2,633	2,622	2,602	2,582	2,541	2,433	2,192	2,185	2,004
苦情発生率(%)	0.6%	0.7%	0.8%	0.8%	1.0%	1.4%	1.4%	1.6%	1.6%	1.6%	1.7%	1.8%	1.9%	2.0%	2.0%	2.0%	1.9%	2.0%	2.0%

資料：生産局畜産部畜産企画課調べ

注1：戸数は当該年の7月1日までの1年間に住民から地方公共団体へ届けられたものである。

注2：苦情発生率＝苦情発生戸数／畜産農家戸数

○ 畜産経営に起因する苦情の内容別発生状況(平成23年) (単位：戸、%)

区分	悪臭関連	水質汚濁関連	害虫発生	その他	計
乳用牛	367 (29.1)	131 (26.1)	29 (18.7)	118 (42.8)	594 (29.6)
肉用牛	219 (17.4)	91 (18.2)	21 (13.5)	76 (27.5)	374 (18.7)
豚	395 (31.3)	216 (43.1)	13 (8.4)	30 (10.9)	569 (28.4)
鶏	242 (19.2)	52 (10.4)	91 (58.7)	34 (12.3)	403 (20.1)
その他	37 (2.9)	11 (2.2)	1 (0.6)	18 (6.5)	64 (3.2)
計	1,260 (100.0)	501 (100.0)	155 (100.0)	276 (100.0)	2,004 (100.0)
構成(%)	57.5	22.9	7.1	12.6	100.0

資料：生産局畜産部調べ

注1：「水質汚濁関連」とは、水質汚濁のみでなく、水質汚濁に水質汚濁以外の環境汚染(悪臭、害虫発生等)を併発しているものを含む。

また「悪臭関連」についても同様の趣旨による。従って、要因の合計は総数とは一致しない。

2：その他は、ふん尿の流出、騒音等である。